

「健康組合」です！

丸川運送株式会社の巻

(市原市)



四年に一度のスポーツの祭典「オリンピック」(北京で開催)には、日本から過去最大の選手団が海を渡り、柔道、水泳をはじめ、二八競技三〇二種目にて一七日間の熱戦が繰り広げられました。日本人選手の堂々たる活躍に、読者の皆さんもテレビの前で興奮し、感動したことでしょう。映像に現れない日々の努力と徹底した健康管理が結実し、好結果をもたらした



▲緑に囲まれたモダンな社屋

職場」があらゆる士気を高め、今日までの企業の発展をもたらしたことを実感しました。

次に、話題は社史に移行しました。丸川運送は、昭和四十六年に丸川運送有限会社として設立。当時は、農協や地元業者が主な取引先で、農産物や建築機材の配送を手がけられ、平成四年に商号を丸川運送株式会社と改めました。

また、昭和五十年にはグループ企業の工藤運輸有限会社(のちに京葉急送株式会社と社名を変更し、平成元年七月からは当健保組合の適用事業所でもあります)を設立され、業務の拡大と多様化に



▲出発を待つ丸川運送のトラック

ことには頭が下がるばかりです。四年後のロンドンオリンピックでは、今回の獲得メダル二五個(金九個、銀六個、銅一〇個)をさらに上回る活躍を期待しています！

★ ★ ★
八月の猛暑から比べると朝夕の気温は幾分和らぎましたが、日中はまだまだ厳しい暑さが残る九月四日、第五四回目の事業所訪問としてお邪魔したのは、市原市に所在する丸川運送株式会社(須田和道社長)でした。

市原市は昭和三十八年に誕生。現在、人口約二八万人を擁し、北部には国内最大規模の石油コンビナートなどの工業地帯が点在し、南部には緑豊かな田園地帯が広がります。面積は千葉県内の市町村で最も大きく、温暖な気候と海と山の幸に恵まれています。有数の

対応されたそうです。その後、数社ある丸川グループ会社の本社機能を合理的に集中させるため、現在の事務所を新築されました。平成十三年に須田現社長が就任された後、先代の意志を継承しつつ時代に即した判断力と行動力のもと、京葉工業地帯の有力企業と業務提携を行い、合成樹脂や化学薬品などの輸送を担うなど、グループの礎を構築されました。

明確な企業経営ビジョンは海釣りなどの時間があればこそ

次に、同社のコスト管理や社員教育について伺いました。原油価格の高騰による燃料費のアップは経営に大きな打撃を与え、運送業界全体にとつてたいへん重要な問題となっています。同社では、燃料費の節約を図るために毎月一回、ドライバーに教育指導をしてきましたが、なかなか効果がみられなかったそうです。いっその燃費向上に努めるため、十月からデジタルタコメーターを導入して管理を徹底し、ひと月八〜一〇%ほどのコストダウンを見込んでい



▲須田社長

観光地である養老溪谷は、紅葉のシーズンになると多くの観光客が訪れ、にぎわいます。サッカークリウド市原・千葉の本拠地として全国でも有名な街です。

本日の目的地は、多数の企業の営業拠点でもある市原市青柳北にありました。本社事務所の外観はレンガ造りのモダン、かつ立派な建物であり、一見、事務所とは見えない温もりを感じさせる造りでした。「こんにちは、健保組合です！」と訪ねると、応接室に案内され、しばらくすると須田社長が「いつもお世話になります」と入室され、貴重な時間を頂戴し、取材を始めることとなりました。

従業員の健康がなによりも大事

初めに話題になったのは、健康

と須田社長はおっしゃいました。

また、社員への安全指導については、年三、四回ほど講師を招き、徹底した安全教育を実施することにより事故防止に努めているとのこと、須田社長は、「会社が健全なる運営ができなければ、従業員を守ることができない」と力強くおっしゃいます。時代の流れと取引先からのニーズにも柔軟に対応し、Gマークやグリーン経営の認証も受けられました。明確な企業経営のビジョンのもと、その方向性を従業員に示すこととお互いの信頼関係が構築されたことと思います。

最後に、須田社長ご自身の健康管理について伺いました。趣味は、海釣りやゴルフで、日ごろの疲れをリフレッシュしているそうです。特に、海釣りは五年前から始められ、「海釣りは一人の時間に没頭できるので安らぎの時間ですね」と話される須田社長の見せた笑顔がとても印象的でした。

ふだんの食事にも気を遣われ、以前は欧米食中心のメニューが多かったそうですが、最近では、カ

管理についてでした。前述したように、今回訪問した丸川運送の社屋が、およそ運送事業所のものは想像がつかない造りであり、私たちが不思議に感じたことから端を発し、お話を伺ううちに健康に対するこだわりを垣間見ることができました。

内装に多くの木材が使用され、職場というよりはロッジにいるように感じられるほど心地よく、樹の香りに癒される感覚でいっばいです。その理由は、先代の社長が健康にとっても関心があったからだと思います。木は吸湿性に優れるほか、木に含まれる成分により気管支ぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギーの大きな原因のひとつであるダニを防ぐ効果があります。

また、東洋医学を独学で学び、取り入れていることや、腰痛などに苦しむ従業員のために整体師を招き入れたこともあるそうです。ご自身の健康はもちろんのこと、従業員の健康管理を第一に考慮された先代の意志を引き継いでこられたからこそ、「安心して働ける

ロリーが低く栄養価の高い和食をメインにとるなど、健康管理には努力されているようです。企業の経営には計り知れないほどの体力と気力を消耗することと思えますので、これからも健康にはくれぐれもご留意してください！

終始、笑顔の絶えない須田社長との取材時間もあっという間に過ぎ去りました。須田社長をはじめ、従業員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

★ ★ ★

今夏、東京など日本各地で局地的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)による人的被害が相次ぎました。予報も間に合わない突然の雨と雷が襲う原因は、温暖化に伴う気温上昇により空気中の水蒸気が増え、積乱雲がでやすくなっていることが挙げられています。自然の猛威の前に人の力がいかに小さいか感じさせられました。

地震などの災害による不測の事態に備えるために、ふだんから非常食や飲料水などを用意しておくことと安心ですね。備えあれば憂い無し！